

## アカウントینگ 知識確認課題

[レポートNo. 0114]

(1) 次の文章のうち、最も適切なものはどれか選びなさい。

<解答群>

- A：会社は、業績不振で赤字経営になると必ず倒産する。
- B：売上高とは、商品や製品を売上げた金額の合計のことであり、利益とは、売上高から原価や経費を差し引いた残りのことである。
- C：会社の目的は、長期にわたってできるだけ高い利益を安定的に獲得することであり、常に利益だけを考えていればよい。
- D：事業を継続するためには、売上高をあげるためだけに活動すればよい。売上をあげていれば資金が不足することはない。

(2) 次の文章のうち、最も適切なものはどれか選びなさい。

<解答群>

- A：貸借対照表は、一定期間における企業の資産、負債、純資産の状態を示すものである。
- B：貸借対照表の借方と貸方の合計は正確に計算されたものであれば一致する。
- C：資産および負債は流動、固定、繰延の観点からそれぞれ3つに分類される。
- D：貸借対照表はP/Lと表示される。

(3) 次の記述のうち、最も不適切なものはどれか選びなさい。

<解答群>

- A：経常利益は、営業利益に営業外収益を加え営業外費用を差し引いて求める。
- B：営業利益は、経常利益から販売費および一般管理費を差し引いて求める。
- C：売上総利益は、売上高から売上原価を差し引いて求める。
- D：税引前当期利益は、経常利益に特別利益を加え特別損失を差し引いて求める。

(4) 次の記述のうち、最も適切なものはどれか選びなさい。

<解答群>

- A：総資産利益率（％）＝経常利益÷総資産×100 である。さらに、売上高経常利益率×総資産回転率に分解できる。
- B：売上高経常利益率（％）＝売上高÷経常利益×100 である。
- C：総資産回転率（％）＝総資産÷売上高×100 である。
- D：総資産利益率で用いる総資産は通常期首（前期末）の金額である。

(5) 下表は期間毎に算出した財務比率を年度別に併記したものである。支払能力または安全性に関する文章の中で最も不適切なものはどれか選びなさい。

支払能力（または安全性）

	単位	第1 1 期	第1 2 期	第1 3 期	第1 4 期	第1 5 期
流動比率	％	127.3	126.5	124.3	120.3	119.6
当座比率	％	73.6	64.0	63.3	58.8	57.7
固定比率	％	130.4	145.1	164.5	182.8	185.7
固定長期適合率	％	75.0	74.1	74.9	74.4	71.2
負債比率	％	233.3	235.4	246.3	258.6	260.0
自己資本比率	％	30.0	25.8	22.4	18.0	15.6

<解答群>

- A：流動比率、当座比率はいずれも低下傾向にあり、支払能力または安全性は低下（悪化）している。
- B：固定比率は年々アップし、資金繰りは楽になっている。
- C：負債比率が上昇傾向にあり、借金の依存度が高まっている。
- D：自己資本比率の低下から見て、財務体質は年々低下している。

(6) 次のキャッシュ・フロー計算書から、経営者はどのような判断をしたと考えられるか。最も適切なものを1つ選択しなさい。

キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	100
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△20
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△50
現金及び現金同等物の増加額	30
現金及び現金同等物の期首残高	40
現金及び現金同等物の期末残高	70

<解答群>

- A：営業活動による100億円のキャッシュ・フローのうち20億円を投資し、50億円を借入返済にあてた。
- B：借入増50億円のうち20億円は投資に活用した。
- C：借入を行い、手持ち現金を30億円増やした。
- D：投資は行わず、減価償却により20億円の資産が目減りした。

(7) A社およびB社の今期の損益状況は次のとおりである。A社およびB社の損益分岐点として最も適切なものを1つ選択しなさい。

(単位：億円)

	A社	B社
売上高	1,700	1,800
売上原価	800	1,280
変動原価	50	70
限界利益	850	450
固定費	750	340
経常利益	100	110

<解答群>

- A：A社1,500億円 B社1,360億円
- B：A社1,520億円 B社1,430億円
- C：A社1,570億円 B社1,550億円
- D：A社1,610億円 B社1,590億円

(8) ある決算期において、株主配当金が220百万円、発行済株式総数10百万株、当期利益500百万円である企業の配当性向はどれか選びなさい。

<解答群>

A : 20.0%

B : 22.2%

C : 44.0%

D : 66.6%

(9) 次の文章のうち、最も不適切なものを1つ選択しなさい。

<解答群>

A : 企業の事業に対する投資判断の際、キャッシュ・フローを利用するにあたっては、「現在価値」という概念を用いることが有用である。

B : 現在価値を使って投資意思決定をする場合、数値が高ければ高いほど不利な投資案であると判断する。

C : 正味現在価値は、プラスであるならばその投資案は実施すべきであると判断し、マイナスであれば、実施すべきではないと判断する。

D : 「資本コスト」とは時間の価値であり、銀行の取引では金利や利息といった言葉で表すものである。

(10) 企業の効率性を評価する指標の計算式として、最も適切なものはどれか選びなさい。

<解答群>

A :  $\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}}$

B :  $\frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}}$

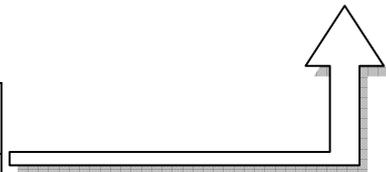
C :  $\frac{\text{経常利益}}{\text{総資産}}$

D :  $\frac{\text{売上高}}{\text{総資産}}$

# SBCP アカウンティング・ファイナンス分野レベルチェック

設問	解答	解 答 理 由	正解
問 1			
問 2			
問 3			
問 4			
問 5			
問 6			
問 7			
問 8			
問 9			
問 10			
合計 ( 1 問 1 点 )			

設問	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
正解	B	B	B	A	B	A	A	C	B	D



合計が 7 点以下 . . . . . 基礎固めに最適なベーシックコースのご受講をお勧めします。  
 合計が 8 点以上 . . . . . 応用力を伸ばすアドバンスコースのご受講をお勧めします。